

## 学級活動（1）指導案

### 1 議題名 スポーツの秋！〇年〇組オリンピックをしよう

### 2 議題について

本学級の児童〇名（男子〇名、女子〇名）は、仲が良く、元気でやさしい児童が多い。男子児童の多くは活動的で体を動かしてよく遊ぶが、運動を好まない児童も数名見られる。また、女子児童の約半数は室内での遊びを好む。友達関係をなかなか広げられない児童もおり、様々な活動場面において気の合う特定の仲間とのつながりだけを強くもとうとする場面が見られた。そこで、学級全体で取り組む活動や生活班による活動を意図的に取り入れ、学級全体としての仲間作りを大切にしてきた。学級目標の「明るく・なかよく・きまりよく」をもとに、みんなで話し合っただけで決めた目標の達成に向けて、心をひとつにして取り組む気持ちを高めているところである。「全員発表をする」「もぐもぐタイムを守る」など、自分たちの課題を意識してめあてを設定し、その達成に向けて友達と声をかけ合いながら取り組む姿が少しずつ見られるようになってきた。前期の終わりには学級目標の達成具合を話し合った。その際には、よく達成できている事柄として、みんなが仲良く協力することができていること、やるときはやるというけじめがつけられていることなどが挙げられた。課題としては、あまり男女でいっしょに遊ぶことができていないこと、廊下歩行などのきまりが守られていないことなどが出された。この結果をもとに、後期の初めに再び話し合いを行い、「学級目標の達成に向けて後期にがんばること」の第1弾として、「廊下の右側を歩く」というめあてが決まった。帰りの会で一日の振り返りをし、10日間全員が守ることができたらめあての達成とし、全員で何か楽しい企画をすることにしている。このように、学級目標の達成に向けて全員で取り組む過程を繰り返す中で、さらに多くの級友と交流させ、学級の絆を深めていきたいと考える。

議題「スポーツの秋！〇年〇組オリンピックをしよう」は、よりよい学級にするためにみんなで何かに取り組もうという考えのもと、児童が議題箱の中に議題カードを入れたものの中から取り上げたものである。学級集会を企画し、実行することで、学級みんなの仲をより深めたいという提案理由である。学級の仲間づくりとして、学級のみんながひとつになって協力し、楽しい集会活動を創り上げる経験を積むよい機会と捉え本議題を設定した。水曜日のロング休憩では、お楽しみ係が中心になって企画し、ハンカチ落としやドッジボール、鬼ごっこなどの遊びに取り組んでいる。今回は「スポーツの秋」と銘打って、どのようなスポーツを行うか、また、みんなが楽しめるための工夫について話し合い、決定させる。この企画を実行することで、今後の多様な集会活動に生かしたり、会が終わってから休憩等に誘い合っただけで体を動かす活動を楽しんだりすることが期待できる。

指導にあたっては、まず、学級会カードを用いて、一人ひとりにどのような会を開きたいかを考えさせることで、話し合い活動へ主体的に取り組もうとする意識を高める。そして、計画委員会を組織し、司会団には全員の意見を事前に集約させておく。話し合いの場面では、時間配分も事前に計画し、それを明示することで、時間を意識させながら議論が深まるようにしたい。また、意見を「出し合う」「比べ合う」「決定する」場面の現在位置を可視化したり、板書計画を考えさせたりすることにより、拡散から収束へと合意形成がスムーズに進むようにしていきたい。自分たちで、計画・話し合い・実践をすることにより、学級会を自分たちで運営していくという意識を高め、今後の創造的な自治活動につなげていきたいと考える。さらに、本時の話し合いでは、運動が得意な児童だけが楽しめる意見に偏らないように留意させ、学級全員が納得のいく決定となるようにさせたい。学級全体に対しては、友達の意見のよさを取り入れながら自分の意見をまとめるように助言する。また、提案理由の「みんなの仲をより深める」ことも意識した話し合いになるように助言したい。この活動を通して、児童がそれぞれ自分の考えを出し合い、お互いの意見を認め合ったり、折り合いをつけて決定したりすることが今後の学級・学年のコミュニケーションの力を育てることにつながると考える。

### 3 活動のねらい

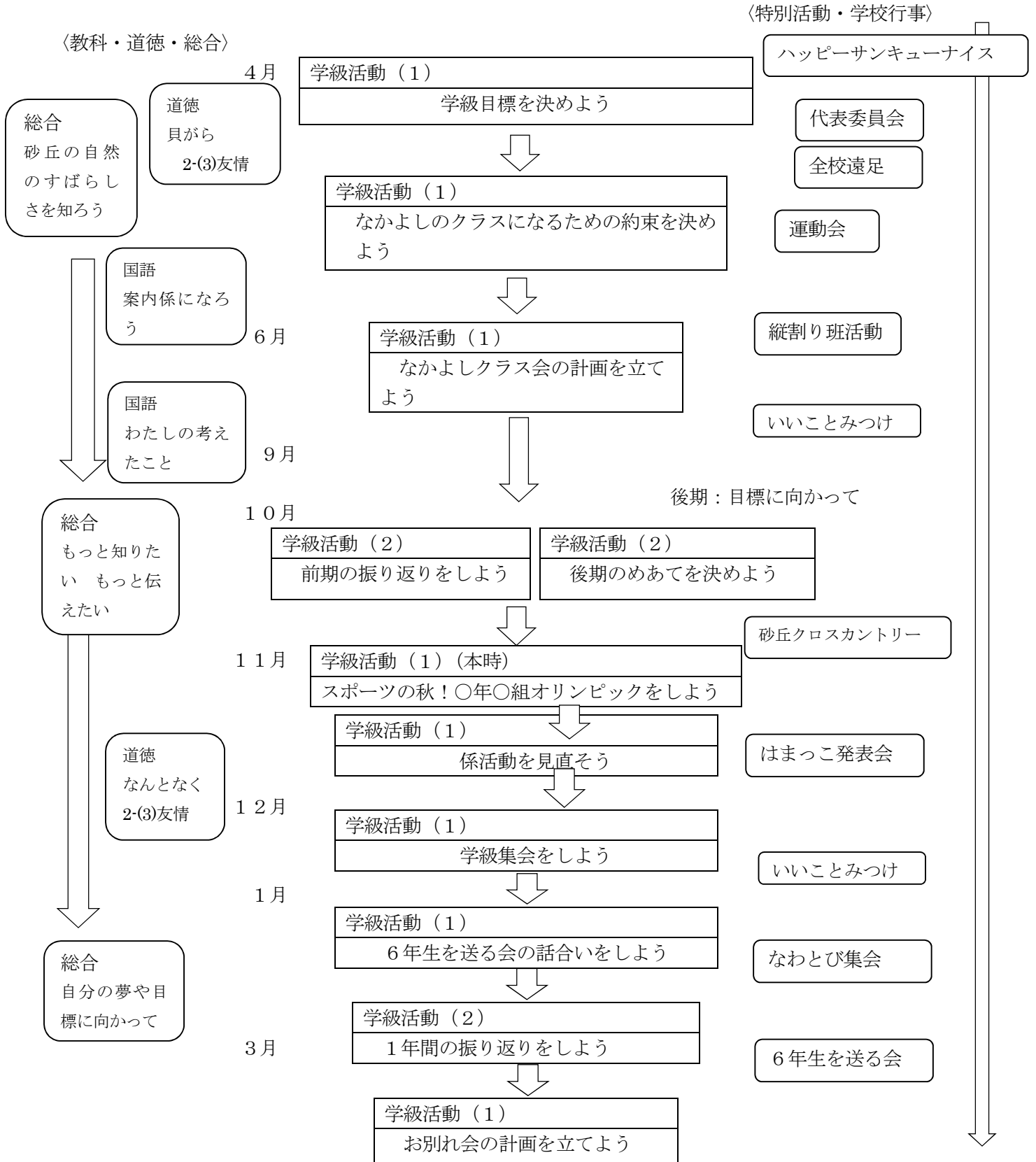
○年○組オリンピックを開くための話し合い活動を通して、学級の仲をより深めようとする気持ちを高め、学級をよりよくするための活動に対して主体的に取り組む児童を育てる。

### 4 活動計画

学年目標

『 つながり合おう 高め合おう 』

学級目標  
「明るく・なかよく・きまりよく」



5 本時の活動

(1) 本時のねらい

どうすれば、学級の仲をより深めるための「〇年〇組オリンピック」にすることができるかを考え、話し合う活動を通して、会の内容や工夫することを吟味し、協力して集団決定しようとする。(関心・意欲・態度)

(2) 本時の評価の観点

観点	本時のめざす子ども像	評価方法
関心・意欲・態度	学級の仲をより深めるという視点を持ち、友達の意見を大事にして聞いたり発言したりしている。	発言内容、学級会カード

(3) 準備 司会進行手引き・学級会カード・学級会グッズ

(4) 学習過程

議題	スポーツの秋！〇年〇組オリンピックを開こう		
提案理由	体を動かすスポーツをみんなで楽しんで、〇年〇組の友達との仲をもっと深めたいと思ったからです。		
本時のめあて	どうすればみんなが楽しめ、〇年〇組の仲がもっと深まる会になるかを考えて、会の計画を立てよう。		
話合いの順序	児童の活動	・教師の支援、指導上の留意点 ◎目指す児童の姿【観点】(手法) ※手立て	時間
1 はじめの言葉	・司会団が役割の紹介を行う。	・話し合いがスムーズに進行するように、学級会カードを記入させ、事前に意見を確認しておく。	3/3
2 話し合いのきまりの確認	・話し合いのきまりを言う。	・話し合いのきまりを意識させる。	1/4
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①話は最後まで聞こう。(途中で口をはさまない。)                      ②みんなにしっかりと聞こえる声の大きさを言おう。                 </div>		
3 議題の確認	・司会が議題の確認を行う。	・何のためにこの話し合いをするのか、ここでしっかりと確認させる。	2/6
4 議題設定の理由説明	・提案者が提案理由を説明する。	・これまでのクラス会議の中でよかった姿を全体に伝えることでよい話し合いのイメージをもたせる。	2/8
5 本時のめあての確認	・司会が本時のめあてを確認する。		2/10
6 話し合い 「〇年〇組オリンピックの計画を立てよう」 【話し合いの柱】 柱1: 実行する種目を4つ決めよう 柱2: 会をもちあげるための工夫を話し合おう	・自分の考えを、理由を付けて発表する。 ・発表に対して反応を示す。 ・意見が出尽くしたら、本時のめあてを意識しながら、理由をつけて「賛成意見」や「心配な意見」を言う。 ・「出し合う」「比べ合う」「決定する」の流れで進行する。	・話し合いのきまりを意識させ、多くの児童が発言できるように司会に声かけをさせる。 ・提案理由を意識するように司会団に声をかけさせる。 ・自分の思いをはっきりと伝え、友達の発表を反応しながら聞いている児童を賞賛する。 ・決定する際には、必要に応じて、折り合いをつける方法についての助言をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         ◎会の内容や工夫することを吟味し、協力して集団決定しようとしている。【関・意・態】(発言内容、学級会カード)                          ※学級会カードの自己評価欄に、振り返りの場面で具体的に感想を書かせる。                     </div>	27/37
7 決定事項の確認	・司会が決まったことを発表する。	・必要に応じて補足する。	2/39
8 振り返り	・学級会カードに振り返りを書く。	・友達のよかったところや自分の感想を書かせて発表させる。	3/42
9 先生の話	・教師の話聞く。	・個人名を挙げながら褒めたり、学級全体の良かったところを振り返らせたりすることで、次回の話し合い活動への意欲を高める。	2/44
10 おわりの言葉	・司会が閉会の言葉を言う。		1/45